

令和6年度 松江キャンパス EMS 委員会（第1回） 議事要旨

開催方法 : メール会議

開催日時 : 令和6年5月31日(金) ~ 6月4日(火)

出欠状況 : 【凡例: ■出席 □欠席】

委員長	■大川 鉄也 理事(財務担当)	
委員	■田中 一馬(法文)	■塚田 真也(教育)
	□武子 愛(人間)	■廣富 哲也(総理)
	■足立 文彦(生資)	■清水 希容子(材エネ)
	■鹿住 大助(本部)	■山下 弘治(企画)
	■福田 孝寿(研究・地方)	■廣兼 敦(教育・学生)
	■高橋 陵子(総務)	■川井 寿裕(財務)
	■山本 浩(松江地区学部)	■周藤 義男(エネ管)
	■村上 敏樹(学生 EMS)	■岡田 愛世(学生 EMS)
	■余村 公彦(松江市)	■巢山 弘介(生資)

議決事項

1. 「京田」及び「曲り田」駐車場の利用者負担について【資料3】

- メール審議結果 承認する: 16名
承認しない: 1名
未回答: 1名

以上の結果、松江キャンパス EMS 改善委員会規程第6条第4項に基づき、出席委員17名のうち、過半数以上の16名から「可」との回答があり、本議題については議決された。

また、委員から下記のとおり意見があり、施設整備課から説明を行った。

記

- 利用者及び事務担当部署の負担を軽減するため、有効期間を単年度ではなく複数年とすることを検討してはどうかとの意見があった。
これに対して施設整備課から、今後の運用状況に応じてご意見を参考にさせていただきたいとの説明を行った。
- 家庭の事情等のため、自家用車等により遠距離通勤・通学をせざるを得ない者について、駐車場の利用者負担を免除(一部免除含む)することが大学全体にとって有益になるのではないかと意見があった。
これに対して施設整備課から、駐車場の利用者負担を免除対象は設定していないが、駐車場利用者の決定過程において、通勤・通学距離順とすることでより必要とする者を優先しているとの説明を行った。
- 今後の川津団地における駐車場の利用者負担について、障がい及び病気等特別な事由を抱える者に利用者負担を求めることは、均衡・公平性を欠くのではないかと意見があった。
これに対して施設整備課から、ご意見を踏まえ、今後、川津団地における駐車場の利用者負担を検討するに当たっては、障がい及び病気等特別な事由を抱える方に利用者負担を求めるかどうか検討するとの説明を行った。

以上